

人生は、八合目からが
おもしろい。



吉永小百合
のん

木村文乃 若葉竜也／工藤阿須加／茅島みずき 和田光沙

円井わん 安藤輪子 中井千聖／長内映里香

三浦誠己 金井勇太 カトウシンスケ 森 優作／濱田マリ 浅見小四郎

天海祐希／佐藤浩市

監督：阪本順治

脚本：坂口理子 音楽：安川午朗

原案：田部井淳子「人生、山あり“時々”谷あり」(潮出版社)

製作総指揮：木下直哉

エグゼクティブプロデューサー：武部由実子 プロデューサー：富永理生子 アソシエイトプロデューサー：椎井友紀子

音楽プロデューサー：津島玄一 撮影：笠松則通 照明：渡邊孝一 録音：照井康政 美術：杉本 亮 装飾：佐藤孝之

編集：普嶋信一 衣裳：大塚 満 ヘアメイク：豊川京子 音響効果：小島 彰 VFXスーパーバイザー：白倉慶二 興村曉人

助監督：小野寺昭洋 製作担当：松田遼一良 ラインプロデューサー：鈴木嘉弘

製作：「てっぺんの向こうにあなたがいる」製作委員会 木下グループ 朝日新聞社 読売新聞社 報知新聞社

制作プロダクション：キノフィルムズ／ドラゴンフライ 配給：キノフィルムズ 協力：一般社団法人 田部井淳子基金

特別協賛：&三井不動産レジデンシャル 協賛：SARIS スターツグループ

特別協力：JR東日本 五島の橋 宣伝協力：JAPAN AIRLINES

後援：東京都医師会 ヘアメイク協力：A/ アーカイブ

© 2025「てっぺんの向こうにあなたがいる」製作委員会

てっぺんの 向こうに あなたがいる



女性初のエベレスト登頂から50周年を迎える2025年。
 阪本順治監督×吉永小百合による
 『北のカナリアたち』以来、13年ぶりのタッグでおくる
 壮大なスケールの冒険譚がはじまる!!



「人はなぜ山に登るのか?」「そこに山があるから」――

かつてこんな名言を残した登山家がいた。困難な道、簡単な道…登るも留まるも、それを決断するのも歩むのも自分自身であり、誰の人生においてもそれは同様だ。あなたはなぜ、その山を、その道を選ぶのだろうか?これは、自分の全てをかけて“てっぺん”に挑み続けた多部純子という女性登山家とその家族の物語である。

主人公・純子进行するのは今作で映画出演124本目となり、日本映画界を牽引する俳優・吉永小百合。純子を支える夫・正明进行するのは数々の映画賞を受賞し、圧倒的な存在感を誇る名優・佐藤浩市。純子の盟友であり、エベレスト登頂の相棒でもある北山悦子役には、吉永と映画『最高の人生の見つけ方』以来5年ぶりのタッグとなる天海祐希。青年期の純子役はアーティスト活動から俳優活動まで多方面で活躍し、その存在感と演技が絶賛されるのん。また、木村文乃、若葉竜也、工藤阿須加、茅島みずきと険しい高峰へ向けて実力派の俳優たちが揃った“パーティー”となった。



STORY 1975年、エベレスト山頂に向かう一人の女性の姿。一步一步着実に山頂(てっぺん)に向かっていくその者の名前は多部純子。日本時間16時30分、純子は女性として初の世界最高峰制覇を果たした―しかしその世界中を驚かせた輝かしい偉業は純子に、その友人や家族たちに光を与えると共に深い影も落とした。晩年においては、余命宣告を受けながらも「苦しい時こそ笑う」と家族や友人、周囲をその朗らかな笑顔で巻き込みながら、人生をかけて山へ挑み続けた。登山家として、母として、妻として、一人の人間として…。

純子が、最後に「てっぺん」の向こうに見たものとは一。



日にち：令和8年9月10日(木) 会場 みなかみ町カルチャーセンター

昼の部：13時30分開場 14時主催者あいさつ 14時10分上映開始 16時10分終了

夜の部：18時開場 18時30分主催者あいさつ 18時40分上映開始 20時40分終了

料金：大人 前売券1,200円 当日券1,500円 小人(高校生以下) 当日券のみ800円

販売場所：みなかみ町役場(本所・支所)・みなかみ町社会福祉協議会本所

主催：みなかみ町・みなかみ町社協

問合わせ：みなかみ社協 0278-62-0081

8月3日
前売り券発売開始

字幕スーパー
入り上映